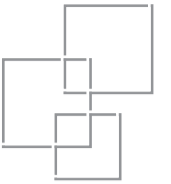


12月定例会では、11月30日から12月2日にかけて21人の議員が一般質問を行いました。紙面の都合により、質問と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。

なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。



本市のデジタル地域通貨について



太田クラブ 八長 孝之

議員 デジタル地域通貨の推進にあたり、高齢者等デジタル弱者への対応が必要と考えますが、所見を伺います。

企画部長 デジタル弱者への対応については、スマートフォン講座やスマホ・パソコン相談室を引き続き活用していただき、アプリの使用方法について継続的な支援をしていきたいと考えます。

議員 デジタル地域通貨の普及促進のためには、利便性の向上や、使ってみたいと思える仕組みづくりなど、継続的な取り組みが必要と考えますが、所見を伺います。

企画部長 利用促進には、今回のプレミアム金券事業以降の取り組みが大切であると考えます。先進事例として、行政ポイントを市の諸施策で活用している事例があり、利用者の拡大に加え、社会活動への参加を促し、地域コミュニティの活性化も期待できるため、積極的に検討していきたいと思えます。

議員 デジタル地域通貨OTACOの活用方法として、「食べて応援」と題し、群

馬クレインサンダーズの試合の際に、マルシェ内でOTACOを使用すると、売り上げの一部がチームに還元されるような仕組みをつくるなど、本市で活動する団体を応援するために活用することについて、市長の所見を伺います。



市長 OTACOが使える環境を整えることで、利用方法を広げていきたいと考えます。また、ボランティアなど社会活動に参加した際にポイントを付与したり、市の補助金をOTACOで支給したりするのがよいと思えます。

■その他の質問

- ・食による地域活性化について



本市の公共交通について —おうかがい市バスの充実について—



太田クラブ 木村 浩明

議員 おうかがい市バスの利用者から、予約が取りづらいという話を聞いていますが、現状について伺います。

市民生活部長 電話予約については、希望日時に予約を取りづらい状況があることは把握しています。

議員 空いている時間に利用してもらえようように、周知方法を工夫してほしいと思えますが、所見を伺います。

市民生活部長 平日の午前中に利用者が集中する傾向にありますので、新規登録者には利用が集中する時間をお知らせするとともに、利便性の高いインターネット予約を推奨しています。今後は、バスの車内に利用希望が集中する曜日や時間帯を掲示するなど、工夫していきたいと考えます。

議員 おうかがい市バスは、いくつかの課題を解決すれば、非常に素晴らしいものになると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 全く同感であり、非常に良い制

度であると思えます。今後も現在の範囲内で十分に実績を重ねながら、早急に予約を取りやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えます。



議員 電話がつながりにくいという課題については、最優先で解決してほしいと考えますが、所見を伺います。

市長 現在は、予約から運行までの全てを委託しており、電話予約の利便性の状況を確認しづらくなっていると考えます。今よりも人数を増やし、電話予約の受け付けは直営に移行することなども、今後検討していきたいと考えます。

■その他の質問

- ・本市の路線バスについて



スポーツを核としたまちづくりについて



公明クラブ 前田 純也

議員 本市では、群馬クレインサンダーズの試合に合わせOTAマルシェを開催しており、新たに太田市総合体育館が完成すれば、さらに交流人口の増加とにぎわい創出につながると思いますが、今後の取り組みについて伺います。

産業環境部長 現在、OTAマルシェの開催をSNSでPRし、イベントを同時開催しています。今後も継続してチームや関係各課と連携したいと考えます。

議員 太田市総合体育館の完成後は、さまざまなイベントを通して、より多くの人々が訪れる機会をつくってほしいと思えますが、今後の計画について伺います。

文化スポーツ部長 市民等を対象にワークショップを開催する予定です。また、全国の先進事例を調査しており、結果を活かしていきたいと考えています。

議員 スポーツを核としたまちづくりについて、市長の所見を伺います。

市長 子どもたちにスポーツを楽しんでもらうために、おたスポーツ学校にカ

を入れ、学校教育にも取り入れています。スポーツが根付くような環境づくりをしていきたいと思えます。



議員 スポーツを核としたまちづくりは持続可能であることが重要です。チームや市民、行政が一体となった、活気あるまちづくりについて、所見を伺います。

市長 プロスポーツ選手にも協力いただきながら、障がい者や子どもたち、保護者にも勇気を与えられるような機会をつくり、市全体が活力のあるまちになるよう目指していきたいと考えます。

■その他の質問

- ・スポーツ振興の現状と課題について
- ・スポーツ施設の整備について



図書館の現状と課題への取り組みについて



創政クラブ 板橋 明

議員 図書館利用者が必要な情報や資料を求めた際に、職員が検索、提供、回答することで手助けするレファレンスサービスについて、利用件数の推移や、周知方法を伺います。

文化スポーツ部長 利用件数は、令和元年度6,697件、2年度6,808件、3年度7,192件です。図書館ホームページで周知を行っていますが、レファレンスサービス自体を知らない人もいることから、館内に案内板を設置するなど、周知に努めていきたいと考えます。

議員 電子図書館は、利用者が直接足を運ばずに利用することができ、返却忘れや紛失を防げるとともに、貸出し業務を簡素化できることから、今後必要性が高まると考えますが、中央図書館での先行導入の考えや必要経費について伺います。

文化スポーツ部長 導入する際は、市内4館での導入となるため、中央図書館のみ先行導入することはできません。初期費用は77万円、ランニングコストは年間66

万円、その他電子書籍代が別途必要となります。導入自治体が少ないため、今後も他自治体の動向を注視していきたいと考えます。

議員 図書館の果たす役割や機能について、今後市長が特に注力したいと考えることは何か、所見を伺います。

市長 利用者が図書館に求めていることを把握することが非常に大切だと考えます。また、県立図書館と十分連携し、必要な書籍を提供できる環境を整えることが重要であると思えます。



■その他の質問

- ・市の有償刊行物等の頒布取扱いについて